資料3

委員からの意見及び回答一覧表

＜高砂市文化振興審議会＞

No.	審議会資料頁	一連番号	施策番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
1	①資料１	－	－	－	－	H30年度は成果成績 R1年度は成果・実績になっていますが、その意図は？成果・実績の方が良いように思います。	委員のご意見の通り、「成果・実績」に統一させていただきました。
2	①資料１	総論	－	－	－	評価と事業の目的に対する評価を見ていてふと感じたのですが、沢山の項目を挙げているからかもしれませんが、事業目的に書かれていることが、本当に大事な目的なのか？事業の概要に対する事業目的が多くの事業で手段を書かれているように感じてしまいました。	委員のご指摘のとおり、目的が目指すべき将来目標ではなく、手段を記入しているものも見受けられます。目的に対する評価を、議題として挙げさせていただいているのは、委員の皆様に、客観的な視点で、各事業の必要性や事業目的の整合性について、ご議論いただくためでございます。具体的にご意見いただければ、各担当課にもフィードバックし、改善していければと考えております。
3	①資料１	３	1-1-1	都市政策課（荒井ふるさと再発見し隊、タウントレイル伊保）	歴史学習会	平成30年度で11回行われたのが急に要請がなくなったのはなぜだとお考えですか?	記載誤りがございました。 令和元年度も年に10回開催しております。
4	①資料１	３	1-1-1	都市政策課（荒井ふるさと再発見し隊、タウントレイル伊保）	歴史学習会	荒井30年度目標8回⇒成果11回 令和元年度目標10回⇒要請なし 伊保30年度目標1回⇒成果なし 令和元年度目標0回⇒ 令和2年度は事業計画にまた荒井があがってきておりますが、都市政策課のお考えをお伺いいたします。	記載誤りがございました。令和元年度も荒井で年に10回開催しております。タウントレイル伊保は市民による自主的な団体であり、令和元年度、令和2年度は活動を休止しており、歴史学習会をできない状態です。
5	①資料１	４	1-1-1	中央公民館	市民教養講座	30年度目標未定、令和元年度目標未定となっているが、予算が出て決算もされているのできちんと目標を入れるべきではありませんか。評価だけＡ・〇というのはなぜか。 令和２年度も継続で予算が増えているので、きちんとした対応をしてほしいです。	・「未定」としていた理由は、予算計上時に講師も含めた具体的な講座内容が決まっていなかったためです。 ・評価を「Ａ・〇」としたのは、平成３０年度に実施した市民教養講座は３回のうち１回が文化関係の講座を開催したこと、令和元年度は８回のうち４回が文化関係の講座を開催したことから「Ａ・〇」としたものです。 ・しかし、評価は目標に対するものなので、目標は「文化関係の回数は未定」ではなく「文化関係の講座を１回以上実施」にすべきであったと考え、令和２年度分も同様であることから、令和３年度分からは表現等を改めたいと考えています。 ・なお、市民教養講座の講師への報償費の予算額は、長い間１７０千円で同額です。

No.	審議会資料頁	一連番号	施策番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
6	①資料１	5	1-1-1	教育センター	高齢者大学での講座	令和元年度の様子がわかりません。評価Aで、目的に対する評価が△になっている理由をもっと具体的に教えてください。	高齢者の学習要求にこたえ、健康の増進、教養及び生活文化、生きがいの向上を図ることを目的とし、1～4学年、OB　全学年で716名、全学年で113回・のべ7,922人が参加、各学年平均出席率47～92%、クラブは46あり、クラブ活動を含めた教育センター全体の利用者は、40,980人となっております。生きがいづくりとして、学生が松陽学園での学びで得た成果を、何らかの形で地域連携として還元してもらう必要があり、その成果としては、OB生によるカリキュラムの講師、地域の公民館など講座を開くなど、またクラブ活動において公民館での各種講座の開催、”公民館まつり”などでの作品展示での協働、ボランティア活動として各種施設等の活動も進めているものの、まだまだ活動の範囲も限られています。今後生涯学習の担い手として高齢者の活動が期待されており、更なる活動の充実が必要となります。元年度の学校運営が、全体の構成が達成するにふさわしいものであったか、学生の意識を高め、やる気を引き出したものだったか、系統立った、関連性や成果が積み上がるものであったのか、部分に関して充分なものであったのか、判断する指標として学生の自主的な活動数を見ており、活動範囲も増えてはいるものの全体数から見れば少ないため、△としております。
7	①資料１	5	1-1-1	教育センター	高齢者大学での講座	30年度評価Ａ、令和元年度評価Ａ⇒30年度目的に対する評価は△である。 全体の構成が不十分とあるが、目的は高砂の歴史や文化を知ってほしい、ということであれば、健康増進はここに入れる必要はないと思うが。	上記と同じ
8	①資料１	5	1-1-1	教育センター	高齢者大学での講座	3. 一連番号5について（関連67、114）事業の概要・事業目的・目標はH30とR1共同じですが、成果成績（実績）が違います。何か理由があったのでしょうか？評価をする基準とは何なのでしょうか？また、評価はAで目的に対する評価は△と厳しく評価されていて、新たな視点・取り組みで「4年間の学習の中で、計画的な学習ができるよう目標を定める」とあります。そこで、R2年度事業計画を見てみるとH30・R1と同じ内容ですが、これで新たな視点・取り組みに書かれていることができるのでしょうか？	上記と同じ

委員からの意見及び回答一覧表

No.	審議会資料頁	一連番号	施策番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
9	①資料1	9	1-1-2	文化スポーツ課	高砂こども狂言ワークショップ	子供が狂言や能の世界に触れることは素晴らしいと思います。体験の機会だけでなく、子供自身が発表できるように保育関係者にお願いするべきだと思います。「文化を継承していけるよう・・・」とありますが、簡単なことではありませんよね。	本事業では、５歳という、多感な時期に伝統文化に触れ、その素晴らしさに気づいてもらうことを目的としております。謡曲「高砂」については、各園にて、ワークショップ終了後は保育の中で取り入れていただいております。過去には、保育園の生活発表会（H25年）を取り入れていただいたり、市内こども園・幼稚園・保育園が合同で開催する「子育ち応援フェア】（H27年）で実際に子供たちが狂言を演じ、発表する機会も提供しました。また、子供自身が発表できる機会としては、毎年、高砂神社で開催されております小中学生対象の子ども仕舞教室がございます。今後も、子供自身が発表できる機会が増えるよう、各園とも協議して参ります。
10	①資料1	10	1-1-2	学校教育課	「ふるさと高砂学」の学習	どの程度実施されたのでしょう? これもしっかりした継続的な取り組みでないと、現実的に担い手となるのは難しいと思います。	謡曲「高砂」の指導については、小学校で１回、中学校で１回、毎年継続的に実施している。その他の高砂市の伝統や文化に関する教育も合わせて計画的に進めており、それぞれの発達段階に合わせて段階的に指導を行っています。「謡曲」という文化が世間ではあまり知られていないという現状であるが、高砂市の児童生徒においては、この事業の実施により認知度は高く、ふるさと高砂を愛する心を育てるきっかけとなっているため、担い手としての素地は養われていると感じています。
11	①資料1	14	1-1-2	学校教育課	俳句、短歌、古文の学習	実際に子供たちの作品がどこかで披露されているのですか?	主に、国語の学習で俳句・短歌・古文の学習を行っています。学年に応じて、自身の作品について友だちやグループで発表し合ったり、校内に掲示したり、参観日やオープンスクールでは、保護者の前で発表したりしています。
12	①資料1	16	1-1-2	生涯学習課	放課後子ども教室	平成30年度から令和元年の減少はなぜでしょう?	体験教室実施主体の減少により、体験教室の実施回数が減少したため、参加者も減少しました。
13	①資料1	19	1-1-3	子育て支援課（子育て支援センター）	ママボランティア講座	大幅増。これはボランティア活動が出来るママ養成ではないのですね。単にママを育てたと理解すればよろしいのですね?	ボランティア活動ができるママさんたちを育成するため実施し、令和元年度はママボランティア講座とすこやかグループという事業を同時に実施することで、43名の参加があり、16名のボランティアの育成につなげることができました。
14	①資料1	19	1-1-3	子育て支援課（子育て支援センター）	ママボランティア講座	4. 一連番号19について事業の概要・事業目的・目標はH30とR1共同じですが、成果実績が違います。年２回の講座は一緒でH30年度は13名のボランティアを育成とあり、R1年度は43名が参加したとだけあります。43名の方もボランティアの育成ということでしょうか？	上記と同じ

No.	審議会資料頁	一連番号	施策番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
15	①資料１	21	1-2-1	学校教育課	謡曲「高砂」の指導	H30年度は16回実施して予算決算共0ですが、R1年度は予算決算共に費用が発生しています。専門家の指導ですから費用が発生するのは当然と思いますが、この差はどういう理由からだったのでしょうか？	平成３０年度の予算・決算に記載誤りがございました。平成３０年度も、令和元年と同様予算が発生しております。
16	①資料１	23	1-2-1	生涯学習課	文化財審議委員会	文化財の保護を図る 平成30年度、令和元年度の具体的な活動内容を教えてほしい。（例えば議事録とか）	【議題】30年度　第1回⑸/16⑴…30年度文化財関係事業計画・諸報告・視察（工楽旧宅等整備完了後）　第2回（2/13）…30年度事業報告・諸報告等 31年度　第1回（5/27）…市指定文化財の指定・解除に関する審議答申・元年度文化財関係事業計画　第2回⑶/19⑴…元年度事業報告・諸報告 　文化財事業内容に係る議題では、実施事業の検証や今後の展開等について、専門的見地から意見をいただいており、行政としても修正を図るなど、建設的な議論を展開していただいております。
17	①資料１	27	1-2-1	都市政策課	景観アドバイザー派遣制度（県）	景観アドバイザー派遣制度で県の制度の利活用の推進のためPRを図るのが事業目的となっていますが、景観アドバイザー派遣により景観が良くなるとかが事業目的で、県にそういう制度があるから使ってもらうことによりより良い景観が生まれるので、目標として数件出してもらうというようなことが大事ではないでしょうか？毎年「要請がなかった」ということで終わっているように思いますが、事業目的に対する評価は○。少し考え方がずれているようにも思うのですが、如何でしょうか？	景観事業については、県が定めた景観形成地区内で実施しています。市内には３つの景観形成地区が設定されており、地区ごとに規定された基準に沿って建築を行われています。当アドバイザー派遣は街区単位のまとまった区域で景観形成を行う際に活用できる取り組みであり、地元住民の意思に基づいて活用されるものであることから、目標件数を定めてはいません。
18	①資料１	35	1-3-1	文化スポーツ課（文化連盟加盟団体）	文化まつり事業等各種イベントへの参加	市としてどのような働きかけをされているのか?　毎年保育園・幼稚園・学校への働きかけをされているのか?自らの評価Aが腑に落ちません。	委員ご意見の通り、現在は各団体からの要望もなく、市より直接、学校等への働きかけを行うには至っておりません。評価については見直しをさせていただきます。また、今後は市内保育園、幼稚園、学校等に対し、文化まつり事業の一覧を配布する等、周知に努め、各事業に興味を持った学校と団体間の調整を図って参りたいと考えております。
19	①資料１	39	1-3-1	学校教育課	芸術鑑賞会、教育美術展、音楽会	高砂市が独自にやっているものですか?　県の事業に参加したものですか?　何の費用でしょう?　過去の支出から見て予算が多くないですか?	芸術鑑賞会と音楽会は、学校行事であるため市費の負担はない。教育美術展は、高砂市内の小中学生の作品を一定期間展示し、市民が自由に鑑賞できるという事業である。この事業については、市内の学校などに掲示するための啓発用ポスターの印刷費用や、会場使用料等の予算を組んでいます。

委員からの意見及び回答一覧表

No.	審議会資料頁	一連番号	施策番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
20	①資料１	51	1-3-5	学校教育課	ＡＬＴの招聘※ＡＬＴ：外国語授業の補助を行う外国語指導助手（Assistant of Language Teacher）の略語。	R1年度評価説明で派遣業者のALTとラトロープから招聘したALTに指導力の違いがみられたとありますが、どのような違いが見られたのでしょうか？また、「課題である」とありますが、何が課題なのでしょうか？	現在、㈱インタラックより市内１６校に外国語指導講師が派遣されています。㈱インタラックは、外国語指導者派遣・委託業者であり、講師の採用段階から指導者としての資質を基準に採用しており、学校配置後も継続的に充実した講師研修が実施されています。そのため、講師は外国語指導講師として一定レベルの水準が保たれています。一方、ラトロープから招致した指導者については、採用基準が外国語指導者という視点ではないうえ、専門的な研修制度も設けられていないため、指導者としてのスキルが十分に備わっておりません。２０２０年度の学習指導要領改訂により、小学校５・６年生において英語が教科化され、これまで以上に児童への専門的な指導が必要となっていることを踏まえ、今後ラトロープ招致講師が英語学習に携わることについて課題があると考えております。
21	①資料１	57	1-3-7	都市政策課	まちづくり学習	依頼がない原因はなぜだと理解されていますか?	まちづくりに興味がある人が依頼した場合に、市民と学習する機会としてまちづくり学習を実施しておりました。近年、こうした学習会の需要が下火になっているため、依頼が無かったと推察されます。なお、「高砂市まちづくり出前講座」の中で都市計画の仕組みや制度を説明する講座を別途用意していることから、まちづくり学習会については、次年度以降は廃止する予定です。
22	①資料１	61	1-3-7	未来戦略推進室若者・青少年支援担当（各地区青少年健全育成協議会）	青少年健全育成事業	どの程度参加しているのか?	夏祭りやとんどなど世代間交流を目的とするイベントでは市内各10地区合計で延べ12,000名以上が参加しています。
23	①資料１	63	1-3-7	未来戦略推進室　若者・青少年支援担当	中学生サイエンスキャンプ	確かに年1回の目標は実施しているのでA・〇の評価なのでしょうが、本当に年1回の取り組みで十分、あるいは良しとお考えですか?	高砂市と連携協力を締結した国立明石工業高等専門学校の出前講座制度を利用したもので、高専教員が講師となるために、通常業務に加えて講師の負担が増えること、事業の実施時期として夏季休業期間が適当なことから、年1回の事業実施が妥当と考えます。
24	①資料１	65	2-1-1	生涯学習課	ふるさと文化財登録制度	「登録がなかった」ということをどのように受け止めていらっしゃいますか?　B評価が理解できません。	市歴史文化基本構想の策定を契機に登録要綱が制定されたが、10年が経過し、制度の運用等について工夫や見直しを図る必要があり、将来、文化財保存活用地域計画を作成する際に検討していく予定です。
25	①資料１	72	2-1-3	生涯学習課	旧入江家住宅の活用	年2回から1回になり支出が増えている。なぜか?　またなぜ1回にしたのか?	令和元年度予算は維持管理費（除草委託料）を増額。臨時公開に係る経費は、そもそも予算に計上していませんので、公開回数と予算額は比例しておりません。 令和2年度の臨時公開は未実施です。夜間公開は元年度は未実施で、30年度のみ実施しております。

委員からの意見及び回答一覧表

No.	審議会資料頁	一連番号	施策番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
26	①資料１	79	2-2-1	生涯学習課	市史に関する歴史的資料の収集、保存、整理	人員が全く足りていないと聞いていたが、充足されたのか?	平成29年度から他の業務を兼務する職員1名（任期付短期職員）が史料整理を担当しています。令和元年度から臨時職員1名（短時間、週3）が加わり、職員2名で対応しておりますが、十分な人員体制とは認識しておりません。 2年度からは、市単費で史料調査・活用に係る経費を予算化しています。
27	①資料１ ②資料２	85 (84)	2-2-6	文化スポーツ課	高砂文化教室「高砂学」謡曲編	なぜ５回から４回になったのですか?(予算はそのままで)。参加者20人から延75人という書き方、一見3倍以上増と取れますが、実際のところ平成30年度と令和元年度とはどのような違いがあるのでしょう?　また、後ろからの撮影とか、モザイクをかけるなどしてバンバンテレビで様子を紹介されてはいかがですか?	令和２年度は参加者からのアンケートや講師との協議を行った結果、５月に高砂神社で開催される尉姥祭への出演も視野していれていることから、謡曲編の講座については４回に変更いたしました。参加人数の年度ごとの表記の違いについては、とくに意図はございません。委員のご意見のとおり統一したほうが好ましいと考え、訂正させていただきます。今年度は、新型コロナウィルス感染症予防のため、事業の実施を延期しておりますが、市民の皆さんに謡曲「高砂」に親しんでいただく機会を提供するため、映像配信についても検討して参りたいと考えております。
28	①資料１	90	2-2-7	産業振興課	日本三奇観光パートナーシップ	評価はA・○、見直しとは?	観光パンフレット、ＨＰ、ポスター等でＰＲを実施しました。 生石神社参集殿で新たに観光案内所「浮石資料館」をオープンし、情報発信して参ります。
29	①資料１	103	3-1-3	文化スポーツ課	病院、福祉施設の活用	概要は慰問の調整目的は活動団体の発表の場を増やすこと。しかしながら、30年度は慰問への調整の問い合わせはない。 令和元年度市はたずさわっていないのに評価はA目的に対する評価は△、慰問に関しては、発表団体を施設双方のやりとりで充分であると思う。市がタッチしなくてもよいものは極力退いていく方向性がよいと思う。	委員のご意見のとおり、基本的には病院、福祉施設への慰問等の活動は、団体と施設の双方のやり取りで行っていただくことが望ましいと考えます。しかし、市の文化振興の窓口として、施設や団体等から問い合わせがあった場合については、支援の必要性があるとも考えられ、今後の事業目的については検討して参りたいと考えます。
30	①資料１	107	3-1-3	生涯学習課	旧入江家住宅の活用 (再掲2-1-3)	2回(9月、11月)から11月だけになり、参加者が半分以下になりながら支出が増なのは？令和元年度夜間公開の入場者数が入っていないはなぜですか?	令和元年度予算は維持管理費（除草委託料）を増額。臨時公開に係る経費は、そもそも予算に計上していませんので、公開回数と予算額は比例しておりません。 評価説明に誤りがございましたので訂正いたします。夜間公開は元年度は未実施で、30年度のみ実施しております。

No.	審議会資料頁	一連番号	施策番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
31	①資料１	135	3-2-6	文化スポーツ課	活動団体（個人）の情報収集	過去2年1件ずつを教えてください。たった1件の目標でA〇の評価、あまりに消極的ではありませんか?	高砂文化教室「高砂学」の講師、文化賞検討委員会、高砂市美術展など高砂市で開催されるイベントや、新聞、インターネットなどから個人や団体の活動状況の情報収集を行っております。 平成30年度は、高砂染の復興に関わる団体との対話の中で、翌年度に「高砂染の型と利用した年賀状作成のワークショップを実施しました。 令和元年度には、高砂の江戸時代の専売制の産業の講座を実施するため、情報収集を行い、新たな２名の講師による講座の実施につなげました。
32	①資料１	145	3-3-2	各公民館	公民館使用料の減免	目標10,000件達成でA〇になっているのでしょうが、実際何件あったのですか?	・平成３０年度の減免件数は9,２１１件でした。高砂市行政経営プランの評価と同様に、目標の±１０%以内であることから「A」評価にしたものです。 ・令和元年度の減免件数は１０,３２１件とカウントしたことから「A」評価にしていましたが、今回、ご意見をいただく中で再確認したところ、余分な件数をカウントしていたことが判明しました。正しくは8,６５８件でしたので、「A」評価ではなく「B」評価に改めさせていただきます。そして、平成３０・令和元年度の事業の目的に対する評価は２万件に対して１７,８６９件であり、概ね9割を達成していたことから「〇」のままとします。 ・なお、公民館使用料の減免適用は、高砂市立公民館管理運営規則に基づいて適正に行うべきものであり、令和２年度の目標も同様にしているものの、「減免での使用１万件」を目標にすることは、「やみくもに減免を適用していく」と誤解される恐れがあることから適切ではないと考え、令和３年度分からは、例えば「貸館件数6,５００件」など、登録グループや公民館事業以外の使用件数を目標にするなど、表現等を改めたいと考えています。

No.	審議会資料頁	一連番号	施策番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
33	②資料２	総論	―	―	―	実施計画10年のうち、後期に入り中間年令和2年度はじめより新型コロナウイルス感染防止のため三密の回避「うつらない」、「うつさない」を守りながらの計画推進に大きく遅れの出る事業もあることは認めざるを得ない。 しかし、本年も1/3を経過した現在、全事業を総点検し、実施済み、未実施を整理し協議する必要があると考えます。	感染状況を注視しながら、市民や参加者の安全・安心と市民への影響度を考慮し、事業の実施又は延期・中止を判断して、事業を進めております。 感染症の収束の見通しが見えない中ですが、すべての事業を先送りにすることは出来ないと考えております。委員のご意見の通り、このような時だからこそ、改めて、市民への影響度も含め、事業の実施の在り方や方法・目的等について協議・検討していく必要があると考えております。
34	②資料２	4	1-1-1	中央公民館	市民教養講座	平成３０年度、令和元年度の決算からみて、この予算額は多いのではありませんか?	・市民教養講座の講師への報償費は、長い間１７０,０００円で同額です。 ・平成３０年度の市民教養講座は８回の開催を目指していましたが３回しか開催していません。これは「館内で講座の内容や時期等について調整がつかなかったため」と聞いており、そのため９０千円の不用額が発生しました。そして令和元年度は計画どおり８回開催しましたが、不用額は４５千円でした。 ・講師への報償は１回２万円程度を基本として交渉しますが、無償で来ていただける講師もいれば、２万円を超える報償が必要な講師にお願いすることもあります。また、他団体からの助成を受けることで公民館の予算を支出せずに講座を行うこともあります。 ・令和元年度では、８回中、無償及び他団体からの助成を受けて開催した講座がそれぞれ２回あったことから、結果として不用額が発生したものです。なお、令和２年３月に９回目を開催すべく検討していましたが、新型コロナウイルス感染症が拡大し始めていたことから開催に向けての準備を見送っています。 ・今後も、市民教養講座の実施にあたり、適正な執行に努めてまいります。
35	②資料２	1	1-1-1	文化スポーツ課	高砂文化教室「高砂学」	活動編、謡曲編の回数が減っているのに予算が増えているのはなぜですか?	予算を計上時には、謡曲編５回と活動編として小学生対象の茶道教室を予定し、施設利用料を増額しておりましたが、最終的に講師との調整がつかず、今年度実現できなかったためです。
36	②資料２	20	1-2-1	文化スポーツ課	高砂文化教室「高砂学」での講師	過去のデータから予算85は多いのでは?　見直しとは?	予算を計上時には、謡曲編５回と活動編として小学生対象の茶道教室を予定し、施設利用料を増額しておりました。毎年、市民のニーズに応じて、講座内容の見直しを図っております。

No.	審議会資料頁	一連番号	施策番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
37	②資料２	22	1-2-1	各課	歴史ガイドクラブによるまち歩き	ぜひ予算をつけてさしあげてください。	高砂文化教室「高砂学」は、「まち歩き」だけでなく、市民と一緒に学びあう教室として位置付け、双方了承のうえ、ボランティア講師として、引き受けていただいております。 各課で行う事業内容により、団体とも適宜相談して参りたいと考えております。
38	②資料２	62	1-3-7	未来戦略推進室　若者・青少年支援担当	夏休み工作教室	目標人数を5人下げて予算はそのままなのですね。	安全面とより丁寧な指導を考慮し、参加する子どもの目標人数を20名から15名に引き下げたが、講師の人数は変更していないため、予算も変更しておりません。
39	②資料２	67	2-1-3	文化スポーツ課	高砂文化教室「高砂学」（再掲1-1-1）	予算、平成30年度5、令和0、令和2年で突然41になったのはなぜか?	予算額の記載が誤っておりましたので、訂正いたします。
40	②資料２	79	2-2-3	生涯学習課	市指定文化財案内板	予算が0と言うことはどういうことですか?　また新指定や案内板を設置する場所が必要でない(と理解してよろしいですか?)ということは、現状で充分であるということですか?	昨年度、新たに市指定文化財に登録された文化財が無かったため、令和２年度は予算計上をしておりません。今後も、市の文化財を適切に管理していくため、文化財審議委員会にてご審議いただきながら、市指定文化財等への登録を進めて参りたいと考えております。
41	②資料２	87	2-2-7	生涯学習課	文化資源（石の宝殿・竜山石切場）の保存、活用	予算がぐんとアップ。理由を教えてください。	令和元年度予算は平成30年度より減額しております。 2年度は約80万円増額しております。 いずれも、生石神社・加茂神社が実施する修繕工事への補助金の増減額によるものです。
42	②資料２	89	2-2-7	消防（総務課）	高砂分署旧庁舎保存活用事業	令和2、3年度「見直し」、4年は「継続」になっているのはなぜ?	令和４年も「見直し」の予定でしたが、誤って「継続」となっておりました。

委員からの意見及び回答一覧表

No.	審議会資料頁	一連番号	施策番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
43	その他	―	―	文化スポーツ課（文化会館）	文化会館の貸館公演におけるチケット販売について	文化会館において、個人で入場料を徴取して、貸館公演を行う場合、文化会館事務所にてチケット販売が取り扱っていただけないのはなぜか。他市の施設ではチケット販売をしていただけるのに、なぜ、高砂だけできないのか。	施設を管理する指定管理者に確認したところ、現在は、公共的な団体が実施する貸館公演のみ、手数料（10%）にて、文化会館でのチケット販売の取り扱いを行っているとのことです。個人、一般団体、私企業等の貸館公演に係るチケット販売については、舞台公演にとどまらず、講演会など、多岐に亘り、各事業の公共性等の判断も困難であるため、一律にチケット販売の取り扱いは行ってこなかったとのことです。指定管理者として、利用者へのサービス向上のため、他市の状況も確認し、検討して参りたいとのことです。